

# こめつつじ

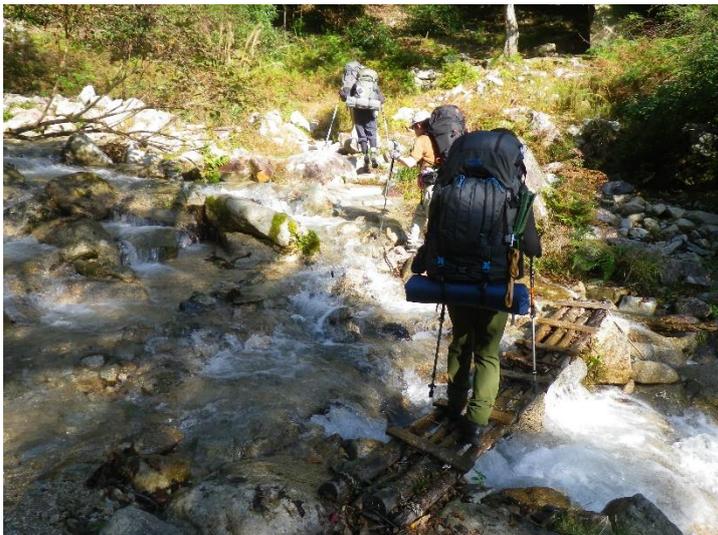


伯耆大山山頂の日の出

2024年 **12** 月号

NO 522  **善通寺山の会**  
YAMANOKAI

ロングトレイル比良山地 2024 11/03-04

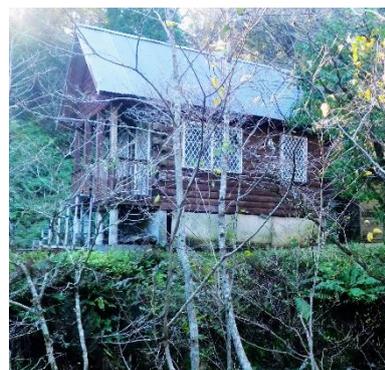


前日の大雨で増水した比良川を渡る

八雲ヶ原湿原にテントを張る



私用山小屋？別荘？ うらやましい



最高峰武奈ヶ岳まであと少し



テントに戻ってまず乾杯



琵琶湖に昇る朝日

朝日をバックに集合写真



琵琶湖大橋  
地図のとおり  
.....



小女郎池

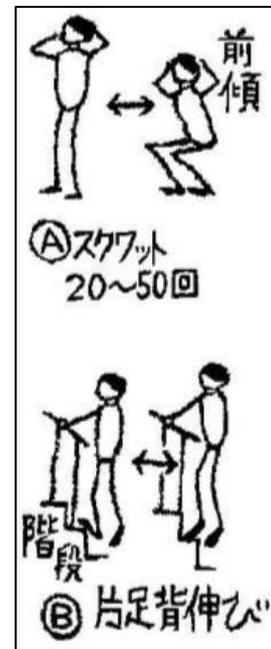
定例山行

案内

## 岩トレ9 アイゼントレ

- 日 程 2024年12月15日(日) 9:00~16:00 小雨決行
- 場 所 坂出市大屋富町の岩場 オレンジヒュッテ前集合
- 担 当
- 持ち物
  - ・硬い深い登山靴 ・アイゼン(12本爪) 出歯 ・手袋
  - ・ヘルメット ・ハーネス ・カラビナ
  - ・スリング ・防寒具 ・カップ ・水 ・昼食
  - ・持っている人はロープ・確保器・エイト環

はじめてアイゼンをつけても雪の上なら結構歩けます。しかし雪岩ミックスの部分ではそうはいきません。アイゼンをつけて岩の上を歩く練習をして、氷雪の秋山冬山春山どこでも行けるようになりましょう。オレンジヒュッテ裏を考えていますが、指導者がそろえばベンチ前の急な所ものぼるかもしれない。ふくらはぎや太ももの筋力をつけると有利です。場所のわからない方は善通寺山の会事務所7:40で拾っていきます。



定例山行案内

# 岩トシ 10

■日 程 2025年1月19日（日）

※詳細は次月号にてお知らせ

定例山行案内

## 初詣・箸蔵街道

- 日 程 2025年1月5日（日）
- 目 的 恒例の初詣、2025年の山行の安全祈願
- 場 所 徳島県三好市～香川県三豊市
- 
- 準備会 2024年12月11日（水） 19：30～事務所にて
- 体力度 2★★☆☆☆（初心者～初級）
- 難易度 B★★☆☆☆（初心者～初級）

毎年恒例の初詣山行です。

讃岐財田駅からJRに乗って箸蔵駅まで行きます。そこから歩いて箸蔵寺、二軒茶屋を  
通って讃岐財田駅まで戻る約14kmのコースです。山行の安全祈願をするとともに、年  
末年始の暴飲暴食した体に鞭を打ってしっかりと歩きましょう！



定例山行案内

## 中央アルプス縦走

- 日程 2025年1月11日(土)～13日(祝)
- 目的 雪山縦走
- 場所 宝剣岳または木曾駒ヶ岳～檜尾岳 (参加希望者で相談して決めます。)
- グレード 体力度5★★★★★ (上級)  
技術度C(積雪期)★★★☆☆
- 準備会 2024年12月17日(火)19:30～事務所



定例山行案内 瀬戸内の島シリーズ

経が森 203m～<sup>さ しま</sup>興居島・小富士 282.4m

- 日 程 2025年 1月 19日(日)
- 目 的 瀬戸内の里山を登る
- 場 所 愛媛県松山市
- 
- 準備会 1月 9日(木) 19:00～ 善通寺市民会館(例会前)
- 体力度 2 ★★☆☆☆(初心者～初級)
- 難易度 A ★☆☆☆☆(初心者)

五十二番札所太山寺にお参りのあと興居島への島旅。興居島小富士山からの忽那諸島と周防灘の眺望を楽しみます。



## 2024年度の山行、ハイキング、行事の予定

会報に案内を載せている以降の予定です。スケジュールに入れて参加しましょう。

月	日	曜日	山行予定
1	25・26	土日	雪山の基礎訓練
2	2	日	岩トレー11
	8・9	土日	弥山尾根
	9	日	初級中級の冬山ー3
	16	日	三平山 (スノーシュー)

	未定	日帰り	ロングトレイルー2	
	22・23	土日	大山縦走	

上記予定は変更になる可能性もあります。

定例山行報告

女性交流山行

## 女木島・鷲ヶ峰

記録

- 日 程 2024年10月20日(日)
- 場 所 香川県高松市
- 目 的 女性の登山の自立を目指し 香川県連の女性の親交を深める
- 参加者 3名
- 費 用 交通費(車、フェリー、駐車場)1337円/人

### 【コースタイム】

8:15 アイレックス® → 9:15 高松港 10:00 → 10:20 女木港  
10:50・・・12:13 タカト山・・・12:51 蓮上人像・・・13:23 鬼ヶ島大洞窟前・・・13:48 鷲ヶ峰展望台・・・14:50 女木港 15:20 →  
15:40 高松港

今日は鬼退治！ 今朝は気温がさがり風が冷たいが昼間は暑くなり晴れる予報です。高松港に着くとたくさんの参加者の方々が集合している。

男性や子供たちの参加もあり賑やかな山行になりそうです。

20分程フェリーに乗ると女木港到着。港近くで、今回の山行を企画してくれた方々の挨拶の後、山筋ゴーゴー体操のストレッチ編ラジオ体操で準備運動。集合写真を撮り、それぞれの会で出発。私たちは景色を楽しみたかったので、最後尾でスタートした。

海沿いの家は、オーテと言う石を積み上げた塀で海風から家を守っている。沖縄の家のような。車道歩きで島の端で灯台へ、タカト山への登山口がある。まずは稜線にでるまで直登で急な登り背後の景色を見ながらゆっくりと登る。稜線にでると山頂までやぶこぎと聞いていたが、歩きやすく枝をかってくれていた。とげのある山椒が多かったので、ケガをせずにすみました。タカト山山頂で大休憩をとりました。次は鬼ヶ島大洞窟前、ここでも大休憩。



ここで昼食にしました。テーブルとベンチがあり、装備のガスで山行初参加の津郷さんに道具の説明をしながら湯を沸かして、リーダーの持って来てくれたコーヒーを頂いた。余裕のある時は道具を試してみることは良いですね。鷲ヶ峰展望台で瀬戸内の景色を楽しみ下山。車道に出るまでの山道も整備されており歩きやす

かった。

下山後、一番楽しみにしていた港近くのソフトクリーム屋さんへ。山の会の人たちで大繋盛です。ミルクの味が濃く普通の1.5倍の大きさだが、山行後ならペロッと食べれてしまう。

鬼さんに見送られながら女木島を出港。





他の会の人達と一緒に緊張するかなと思ったけど逆に刺激になりましたし、善通寺山の会が好きになります(笑)。



定例山行  
報告

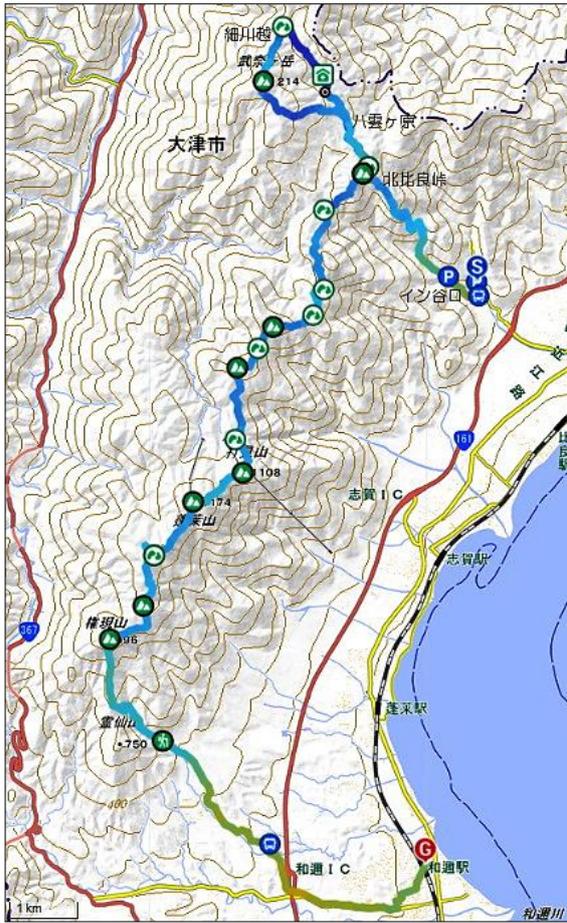
比良ロングトレイル 武奈

ヶ岳 蓬萊山

記録

- 日 程 2024 11/03-04(日月) 晴れ
- 場 所 滋賀県大津市 比良山地
- 目 的 琵琶湖を眺め徒歩旅行を楽しむ
- 参加者 5名
- 費 用 ガソリン 距離 641 km×28=17948 円 ETC11500 円 タクシ-4700 円  
1 人 6830 円

11/03 日晴れ 普通寺 430=山陽道=京都東IC=イン谷口 P845→1150 北比良峠→  
1215 八雲ヶ原 1305→1445 細川越え→1530 武奈ヶ岳→1655 八雲ヶ原テント泊



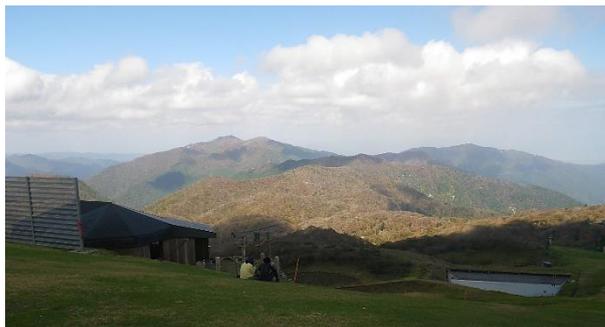
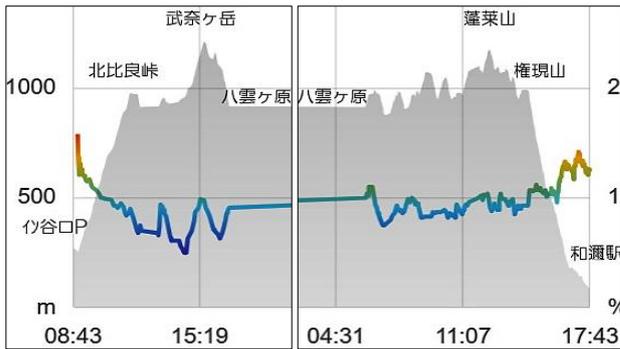
今回は飯野山ボッカトレ組(あるいは大平姉別荘組)が主力。初日の11/02が大雨になったため、3日間の予定を日月曜の2日間に圧縮。武奈ヶ岳登山口のイン谷口に駐車。かなりたくさん停まっている。谷に沿って稜線の金糞峠に上がる青ガレートは落石などの問題がありそうなので、沢を渡ってすぐ北のダケ道ルートを上がる。歩きやすい道である。

背後に琵琶湖が見えるようになり北比良峠に到着。ここにテントを張る人もいる。少し下ると八雲ヶ原という湿原になり我々もテントを張る。その後鴨川(京都の鴨川とは別)の源流を細川越えに向かって進む。前日の雨で水量が多いためか、川を渡る場所を探すのに時間がかかる。このあたり私用山小屋が3軒ほどある。細川越えからは南へ尾根をたどり最高峰の武奈ヶ岳(1214)に到着。そこからはコケにおおわれたスキ-場の跡地をたどって南東に下り、八雲ヶ原のテント場に戻った。



乾杯の後、夕食は各自用意したフリーズドライ パスタ等を調理。テント2張り女3+男2人。満天の星。

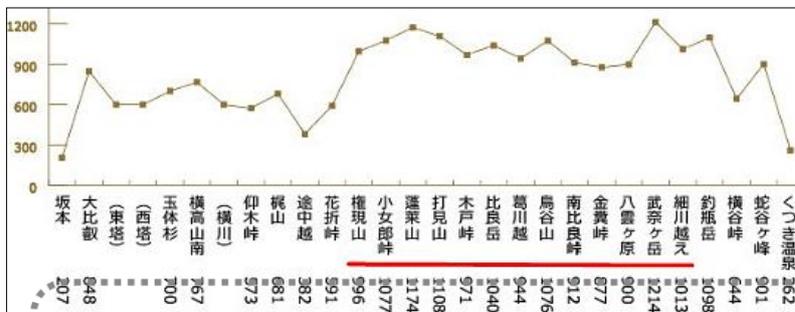
11/04 月 晴れ 八雲ヶ原 555→615 北比良峠→805 南比良峠→1015 比良岳→  
1125 打見山 1155→1230 蓬萊山→1415 権現山→1555 霊仙山口→1740 和邇駅タ  
クシ=イン谷口 P=比良とびあ=京都東IC=淡河 PA=山陽道=11/05 020 普通寺



朝食後出発。まず北比良峠に登り琵琶湖から上がる日の出を見た。このテントは撮影ねらいの人が多と思われる。以後峠とピークが交互に登場。細かいアップダウンである。常に左手に琵琶湖が見える。少しかすんでいてシャープではないが、琵琶湖大橋で南湖と北湖に分けられ地形図のとおりである。

木戸峠まで来ると古い道が崩壊により途切れ、びわこバレイスキー場のグレンデを登る。ここも地面はコケにおおわれている。登りつくと打見山で琵琶湖側からロープウェイが上がってくる。観光客がいっぱいで、トイレやレストランもあるが現金は利用できないところが多い。次は蓬萊山で今回ルート上2番目に高い。ここから先は人も樹木も少なく笹原が目立つ。景色も小女郎池を経て南方に比叡山が見えてくる。今回は北から南に進むので、写真が逆光になりがちで反省点である。

権現山からは膝に注意して一気に下り、ズコノバンからは林道跡の道、さらに霊仙山口で舗装された道路になる。そこから栗原バス停、湖西線和邇駅までは結構長かった。和邇駅では湖西線ではなく客待ちのタクシーに乗り、イン谷口駐車場まで直行してクルマ回収。真っ暗で自分のクルマ1台のみ残っていた。最近クルマも出たそうで、タクシーで来て正解であった。和邇駅に戻り他メンバーを回収後、登山口近くの比良とびあで入浴。女性が積極的に運転してくれ、淡河



PA でボリュームたっぷりの夕食。善通寺に帰り着いた時には日付けが変わっており、反省会をして解散。

定例山行報

## 4 3回五色台クリーンハイキング

- 日 程 2024年 11月 10日(日) ■天候 晴れ
- 場 所 五色台(坂出市、高松市)
- 目 的 他会の人々と交流を深めながら登山道を綺麗にする。
- 参加者 21名

事務所 7:30==8:45 中山休憩所……9:00 ゴミ拾い開始……11:00 終了……12:00

クラフトハウス 昼食……12:30 集計発表……解散

### 【ごみの量】

善通寺山の会	燃えるゴミ	びん	かん等々	60 kg		
	粗大ゴミ	(テレビ	タンス	バンパー)	60 kg	
県連全体	参加者	86名				
	燃えるゴミ	びん	かん等々	297 kg		
	粗大ゴミ	(タイヤ	トタン	バッテリー	フライパン)	132 kg
			計	432 kg		

今年は大崎の鼻コース A とのことで中山休憩所に集合して、11月とは思えないほどポカポカした天気の中 3班に分かれて開始する。五色台スカイラインをあまり越え目指して車道を歩くもあまりゴミは見当たらず、あれっ、こんなものなのと思っている。下の雑木林の中には空き缶やペットボトルが転がっている。見て見ぬふりもできるのだけれど、山を愛する私たちは、ゴミのない山にしたいという使命感に燃え、サッと駆け下りては拾って行った。

ゴミ袋がいっぱいになりちょっと重いなあと思っていると、軽トラが来て回収してくれる。すごい連携プレーでスムーズに行えた。その後、クラフトハウスで昼食、集計発表などを行う。年々 ゴミは減っているとの事。

沢山のゴミが拾えて山に喜んでもらえ、また、山の空気を吸って若返り、その上頂いた国民休暇村の入浴券できれいになりといい事づくめの1日でした。また、来年も参加したいと思いました。

定例山行報告

## 広島（王頭山 312m～心経山 213m）

- 日 程 2024年 11月 17日（日） 曇り
- 場 所 香川県丸亀市
- 目 的 島山で瀬戸内の景色を楽しむ
- 参加者 14名 会員13名  
会員外1名
- 費 用 走行距離 20km 交通費 160円/人  
船運賃 1,160円/人（往復）

### コースタイム

事務所出発 6:00 == 6:20 駐車場・・・6:30 丸亀港 6:50～～7:11 江の浦港 7:30・・・  
7:50 王頭山登山口・・・8:50 王頭砂漠 9:00・・・9:10 王頭山頂上 9:15・・・9:  
45 分岐・・・10:00 心経山頂上 10:20・・・10:45 山之神神社 11:10・・・11:20  
甲路登山口・・・12:50 江の浦港 13:30～～13:51 丸亀港・・・駐車場==14:30 事  
務所

一昨年、広島を訪れた山行が楽しく印象深かったので、今回も楽しみに参加した。丸亀港6:50発の船に乗り広島に向かう。私たちの他には5人位の釣り人らしきお客さんがいた。残念ながら窓の外は霧で真っ白。どうか雨は降りませんようにと願った。

江の浦港で体操の後、会員の娘さんが参加してくれたので順番に自己紹介をしてから出発した。登山口までは目のつく所に「王頭山へ→」の標識があり、途中に明治28年に建てられた石蔵（油の貯蔵庫）や英国士官レキの墓を見ながら歩いた。登山口の看板の前で休憩をして、しばらくは舗装された登山道を登った。急にロープと鎖の張られた大きな岩が出てきて気をつけて登る。見晴らしのいい所に出ても、真っ白で景色は見えない。蒸し暑い。足元のシダがどんどん増えてきて地面が見えにくくなる。おまけにシダが濡れているのでズボンも濡れてくる。シダをかき分け進んだ。

山頂近くで「空中庭園」と看板があり、目の前に砂漠のような不思議な景色が現れる。王頭砂漠と言われ、花崗岩が風化されてきた真砂土が砂漠のように広がっている。丸みをおびた大きな岩が点在していて、岩のトンネルをくぐったりした。王頭山の頂上は展望がなく、集合写真を撮って先に進んだ。





分岐点の看板から心経山へ進む。階段を上ると太子堂があり、その奥から心経山の頂上へ登る。ゴツゴツした岩場を見上げ、落ちつけ落ちつけと自分に言い聞かせてゆっくり登る。「三点支持で気をつけて」とCLからも声がかかる。頂上から天気がよければ瀬戸内の島々が一望できるのだが、今日は見ることができなかった。頂上から先に岩が突き出していて、数名が進んで余裕の笑顔でポーズをとっている。ああ怖い、私は足がすくんで前に進めなかった。岩場の下りはより慎重に、急な所では後ろ向きになって下った。

分岐点まで戻って甲路登山口へ下りた。途中の山之神神社で休憩。おしゃべりをしながら温かいラーメンなどを食べた。登山口から港までは海沿いの車道を歩いた。明治時代に作られた灯台を眺めたり、泳ぐ魚を見つけたり、季節の草花を教えてもらったりした。

港に着くと待合所に併設されたピザ屋さんでソフトクリームやコーヒーをいただいて（島の食材を使ったピザは今度のお楽しみ）海の見えるデッキで反省会をした。

のんびりした島山登山を想像していたら、突然山の上に砂漠が出てきたり、低山なのになかなか急な岩場があったり、行って経験しないとわからない楽しさだ。

島は山と海の両方を楽しめ、ゆったりと過ごせるのがいいなと思う。また来たいなと思いつつ、13:30の船に乗って帰路に着いた。

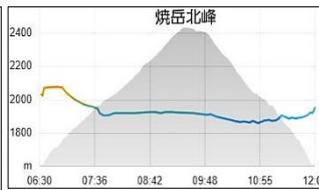




個人山行報告

## 焼岳 西吾妻 苗場 那須 三本槍 茶臼

- 日程 2024 10/20日~26日
  - 場所 長野県松本市 山形県米沢市 長野県下水内郡栄村 栃木県那須郡那須町
  - 目的 深田百名山を参考に日本各地の山に登る ■参加者 1名
  - 費用 ETC44050円 距離 3038 km 燃費 15.2 km/ℓ 200ℓ 34000円 計約9万
- 10/20-21 晴れ 善通寺 1400=山陽道東海北陸道=2200 新中の湯登山口P 車中泊  
 晴れ 630→915 焼岳北峰 950→1205 新中の湯登山口=北陸磐越=道の駅米沢車中泊



飛騨高山側から安房峠を越えて長野県にはいったところの新中の湯登山口Pで車中泊。翌朝はきれいに晴れ、背後に前穂の吊り尾根が見える。北峰・南峰のあいだの谷を登るにつれ、岩石ガラガラの火山らしい景観になる。雪はないが地面は凍っているところが多い。山頂につくと 笠槍 奥穂 前穂 明神 霞沢 乗鞍 南アルプスの山々が見える。下ると駐車所は満車。次はということで東北で残っている西吾妻をめざす。長野道北陸道磐越道を通して米沢へ、道の駅で車中泊。

10/22-23 曇り 道の駅米沢=湯本駅+ロープウェイ+天元台高原駅 835→1005 リフト  
 終点→1135 西吾妻山→1315 リフト終点→1415 天元台高原++湯元=道の駅あらい車中  
 泊 10/24=日本国道最高地点・草津白根付近=岩宿博物館=道の駅十日町車中泊



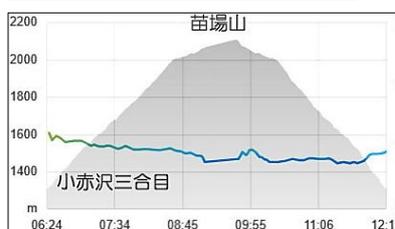
暗いうちに天元台  
 ロープウェイ湯元駅  
 へ。ロープウェイは動き黄葉も始まっているが、その上のリフトはすべてお休みで、スキ-場の草原を歩くことになる。背後に月山や朝日連峰が見える。すっかりガスにおおわれて岩ごろごろの道になり、樹林帯や池塘を過ぎるとあっけなく吾妻連峰最高峰の西吾妻に着く。視界はない。次は苗場をねらい新潟の道の駅あらいに泊まる。夜間から雨に加え風も強い。

翌朝草津白根に向かったが、ドライブだけで車道外は立ち入り禁止。群馬県側に下ったので岩宿博物館を見に行った。自分の歴史観では日本の歴史・旧石器時代がここから始まったことになる。天気予測からは10/24 苗場 10/25 那須をねらうと、どちらも好天と考えられた。再度新潟県に戻り十日町道の駅で車中泊。

10/24 霧雨山上のみ晴れ 道の駅十日町=小赤沢 3 合目 P625→925 苗場山頂→1215  
 小赤沢三合目 P =田子倉ダム=道の駅しもごう車中泊



暗いうちから苗場登山口の秋山郷小赤沢三合目に向かう。霧雨であったが、登って雲の上に出ると晴天。雲海上に多くの山が浮かぶ。苗場山は山頂が平らになっ



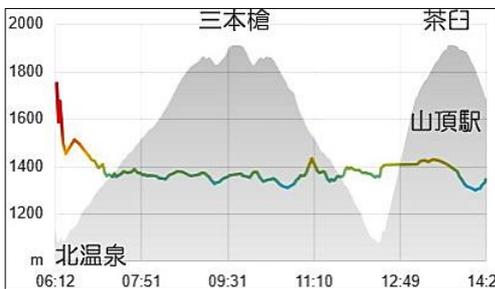
ており多数の池塘が診られる。前日の雨に助けられた。北アルプスはほぼ全体が見える。GPS が不調になった。山頂の小屋は営業していた。下山してからは高速を避け山道の一般道を走ることにする。かつて日本最強水力発電所だった田子倉ダムと貯水池を経て、那須岳登山口をめざす。福島県の道の駅しもごうで車中泊。

10/25-26 晴れ 道の駅しもごう=北温泉 P610→935 三本槍→1220 北温泉 P=山麓駅+那須ロープウェイ+山頂駅 1305→1345 茶臼岳→1430 山頂駅++山麓駅=300 普通寺



那須の北温泉Pから那須連峰最高峰の三本槍をめざす。マウンテンズブローウェイが廃止になってこ

らから登る人はすくないようだ。茶臼や朝日を横目に、登りやすい道で距離と高度を稼いで山頂に到着。登山者多数となる。北温泉に戻ると残り時間は十分とみられたため、那須ロープウェイの山麓駅に向かい、すばやく山頂駅へ。観光客多数である。茶臼側はまさに火山といったあれた景観で、三本槍が遠方に見える。登山者や観光客が多いと言っても廃墟が目立ち、以前よりはさびれたのであろう。クルマに戻り那須ICから東北・圏央で、



ナビに振り回され渋滞に悩まされ、中央道山陽道を経て四国にもどった。

#### 定例山行報告

## 皇海(すかい)山 庚申山 浅間黒斑(くろい)山

記録

- 日程 2024 11/08(金)-11/10(日)
- 場所 栃木県日光市群馬県沼田市帝釈山脈 長野県小諸市群馬県嬭恋村三国山脈
- 目的 深田百名山を参考に日本各地の山に登る ■参加者 1名
- 費用 ETC約2.5万円(軽)1790km 22km/ℓ 81ℓ約1.4万円 計約4.5万円

11/08 金 晴れ 善通寺 1000=山陽新名神第2 東名 852 km=2300 銀山平車中泊  
 11/09 土 晴れ 銀山平 425→645 庚申山荘→805 庚申山→1015 鋸山→1150 皇海山  
 →1310 鋸山→1430 六林班峠→1730 庚申山荘→2000 銀山平=道の駅くろほね車中泊



高速道路が迂回渋滞の繰り返しで、登山口までずいぶん時間がかかってしまった。最後車道にシカが登場。

車中泊朝食後真っ暗な中を歩き、現



在使用停止中の庚申山荘に着くと完全に明けた。南総里見八犬伝に出てくる奇岩の間をくぐり庚申山に到達。ここから気持ちの良い稜線を進む。皇海山ほか日光周辺の山が並ぶ。鋸山が近づくと頻回の鎖場が登場。かなりの急傾斜。1年前は雪がありアイゼンをつけたが、岩が濡れると怖い。



鋸山で小休止の後、ガラガラの斜面を不動沢のコルに下る。西側からここに近道が上がってきているが、下部の林道崩壊のため使えなくなっている。そこから先は比較的歩きやすい道になる。背後の鋸山はまさにのこぎり状である。皇海山頂に到達、ここは鉱毒でも有名な渡良瀬川の水

源になる。山頂からの展望はよくない。鋸山まで戻り、八つが岳・富士山などの展望を楽しんだのち下り始める。鎖場を戻る人と、六林班峠を経てトラバース道の人に分かれ、自分は後者である。西側の六林班峠付近はかなりササが深くシカの食害は少なそうだが、東側の庚申山荘に近づくとササは薄くなる。

簡易テント・寝袋・食料・アイゼンなどが重く、レシオンは不足気味でペースはゆっくりである。1000Ca1 マーガリン黒糖ロールと 400Ca1 クリームパンをまちがえたためである。いつでもどこでもテントを張って泊まられると考えつつ、結局暗闇の中を銀山平の登山口まで戻ってしまった。ヘッドランプのほかに低い位置にライトをつけたため、適度に影ができ地面の凹凸がつかみやすく歩きやすい。

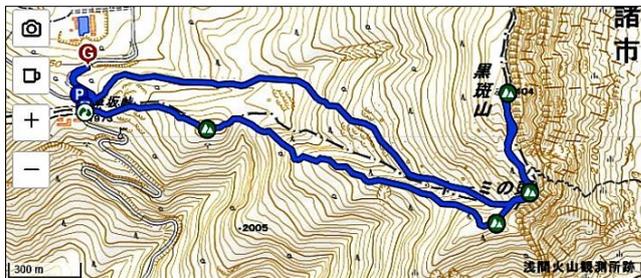


に影ができ地面の凹凸がつかみやすく歩きやすい。

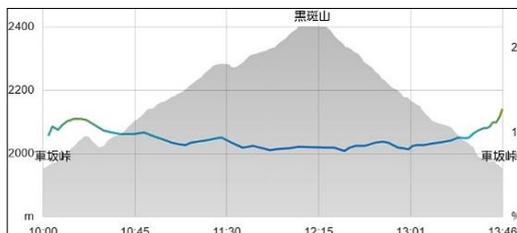
11/10日 晴れのち曇り 道の駅くろほね 700=上信越道=車坂峠 1000→1205 黒斑山 →1345 車坂峠=上信越長野道中央道名神山陽=2400 善通寺



道の駅で車中泊し、睡眠不足を解消して朝食後妙義山の横を通って浅間方面に向かう。浅間山は噴火警戒レベル2で、浅間山本体はもちろん内側外輪山の前掛山もはいれず、外側外輪山の黒斑山までということになる。前日の疲れも十分には回復していないので、標高 2000m 近い車坂峠から登ることにした。途中俳句の句碑が多数立っている。カラマツの黄葉がきれい。



峠から登ることにした。途中俳句の句碑が多数立っている。カラマツの黄葉がきれい。駐車場は満車に近く、ハイカーが多数登っている。かまぼこ型の火山シェルターがみられる。山頂付近では完全にガスにおおわれてしまい。火山らしい浅間山を見ることはできなかった。登山路が深い溝になり登山路を公式に付け替えている部分が多い。車坂峠に戻るとあとは帰るのみ。岡谷付近で工事



による渋滞で、GPSに従って一般道に下りて伊那谷にはいった。日付が変わる頃善通寺に帰り着いた。

による渋滞で、GPSに従って一般道に下りて伊那谷にはいった。日付が変わる頃善通寺に帰り着いた。



による渋滞で、GPSに従って一般道に下りて伊那谷にはいった。日付が変わる頃善通寺に帰り着いた。

12月			1月		
1	日	われほん山～鉢伏山	1	水	
2	月	伊吹島準備会	2	木	
3	火	会報部会	3	金	
4	水		4	土	
5	木	例会	5	日	箸蔵街道
6	金	大山準備会	6	月	
7	土	納山祭	7	火	会報部会
8	日		8	水	山行部会
9	月		9	木	例会・興居島準備会
10	火		10	金	
11	水	山行部会・箸蔵街道準備会	11	土	中央アルプス縦走
12	木		12	日	
13	金		13	月	
14	土		14	火	
15	日	伊吹島・岩トレ9	15	水	事務局会議
16	月		16	木	運営委員会
17	火	中央アルプス縦走準備会	17	金	
18	水	事務局会議	18	土	
19	木	運営委員会	19	日	瀬戸内島 興居島・岩トレ10
20	金		20	月	
21	土	大山	21	火	
22	日		22	水	
23	月		23	木	
24	火		24	金	
25	水	原稿締切	25	土	原稿締切・雪山基礎基礎
26	木		26	日	初級中級冬山
27	金		27	月	
28	土		28	火	
29	日		29	水	
30	月		30	木	
31	火		31	金	

◆月会費:1,100円 入会金:1,000円

◆申し込み・問い合わせ先 ☎(0877)22-0036 佐藤



こめつつじ No522

発行:善通寺山の会 会報部	発行日:2024/12/3
住所:〒765-0021香川県善通寺市下吉田町143-1	
発行人:三野	編集責任者:村上しのぶ